

2008年

1

月号

組合会報

〈発行所〉
埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町2-222-7

TEL 048(666)2184

FAX 048(652)7631

〈発行人・理事長〉

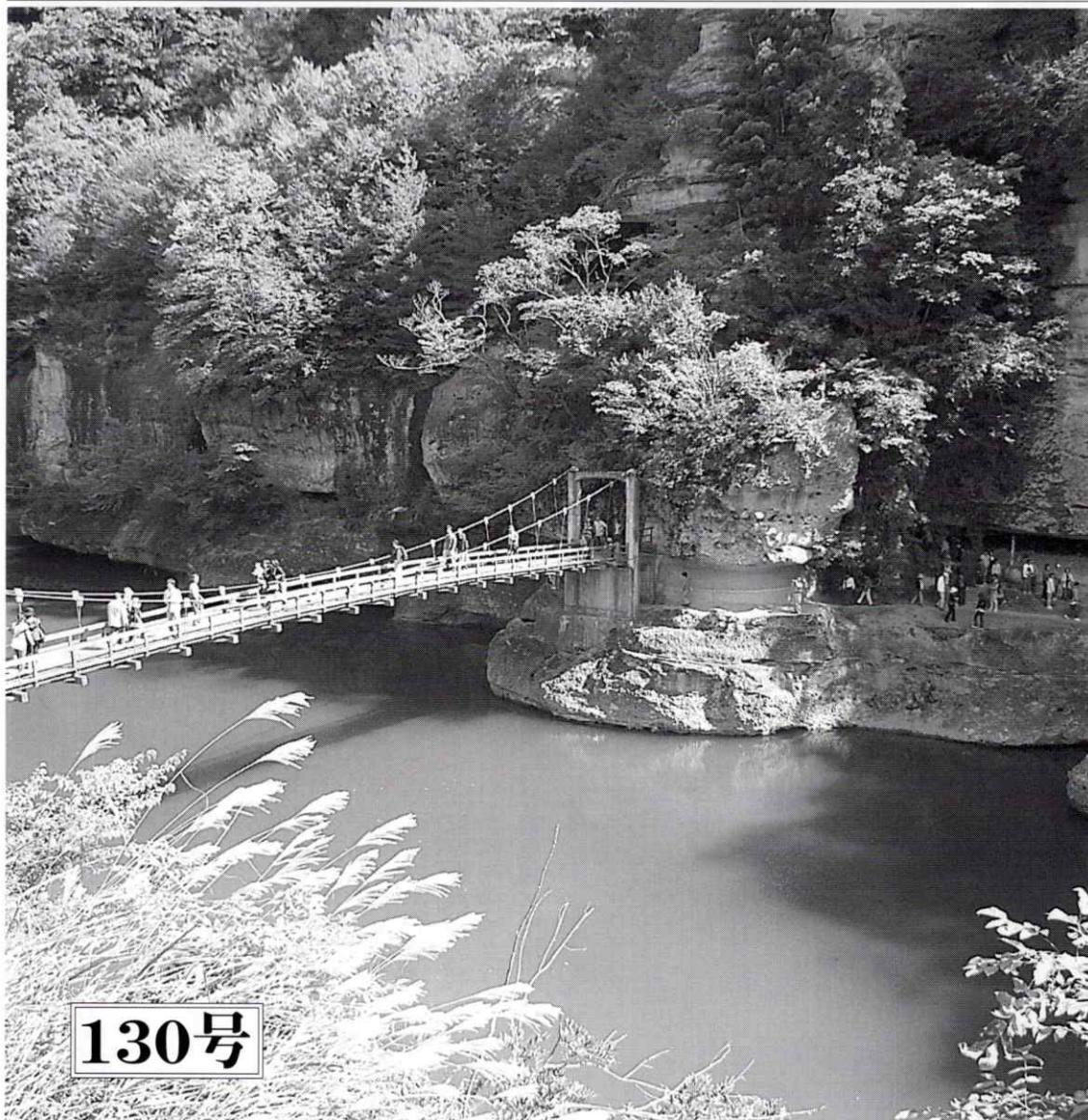
吉田 勇

〈編集人・総務委員長〉

島田 幸昌

一今月号の主な内容ー

| | | | |
|-----------------|---|-------------------|-----|
| 全鍍連関東甲信越静ブロック会議 | 2 | 現代の名工 高岡彰次氏が受賞 | 6 |
| 公害防止管理者 研修会を開催 | 3 | 支部だより (第1支部・第7支部) | 7~8 |
| 第45回全国大会開催される | 4 | 埼鍍会活動報告 | 9 |
| 視察研修旅行 | 5 | 鉄道博物館オープン | 10 |

**130号**

(福島県 塔のへつり)

全鍍連 関東甲信越静 ブロック会議

全鍍連関東甲信越静ブロック会議を平成19年10月4日に甲府市の天皇陛下もご宿泊されたホテル「常盤ホテル」において行われました。

埼玉県は理事長、副理事長2名、専務理事、総務委員長の計5名で参加しました。

今年度幹事の山梨組合田代理事長が挨拶を述べ、続いて全国鍍金工業組合連合会鈴木会長が挨拶し、次に幹事三組合の各理事長が共同議長となり活発な意見交換が行われました。各組合の意見が多くたのが、環境規制・土壤問題などの緩和に対する全鍍連への要望が多く、埼玉県の要望としては会員増強を埼玉では行っているが、全鍍連でも会員加入支援等をお願いしました。



公害防止管理者 研修会を開催

平成19年10月11日（木）午後1時30分より大宮サンパレスにて、

事業所責任者及び公害防止管理者を対象に研修会を開催した。

石下一明環境保全対策委員長の司会で行われ、仁科俊夫副理事長の開会の辞に続き、主催者を代表し野口武副理事長が次のように挨拶した。

「皆様もご承知とおり京都議定書に基づく地球温暖化防止・CO₂削減など今後環境問題が厳しくなる中、我々事業所に就いても今後ますます厳しくなるでしょうが、循環社会を築いていく上で大事な事であつて企業の社会的責任（CSR）の観点からも前向きに対処する事によつて経営にプラスになるような結果を出せるようにしていただきたい。しかし、原材料の高騰や土壤汚染などの問題も大きく、その費用を製品に附加させる事は難しく今後も鍍金組合としては議論をしていきたい。」と挨拶した。

第1講演「P R T R 平成18年度集計結果について」

講師 埼玉県環境部青空再生課
有害化学物質担当 主任

岡田 浩氏

1 P R T R とは
P R T R (Pollutant Release and Transfer Register…化学物質排出移動量届出制度)

ある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、

集計し、公表する仕組みです。
対象としてリストアップされた化学物質を製造したり使用したりしている事業所は、環境中に排出した量と、廃棄物や下水として事業所の外へ移動させた量とを自ら把握し、行政機関に年1回届け出

行政機関は、そのデータを整理し集計し、また、家庭や農地、自動車などから排出されている対象化物質の量を推測して、2つのデータを併せて公表します。

| |
|---------------------|
| ① 埼玉県の総排出量は全国第4位 |
| 総排出量は全国 606、796トン |
| トントンに対して、 |
| 1位 愛知県 39、924トン |
| 2位 東京都 30、813トン |
| 3位 静岡県 29、639トン |
| 4位 埼玉県 29、057トン |
| 5位 神奈川県 26、437トン |
| ② 埼玉県の届出排出量は全国第3位 |
| 届出排出量は全国 258、667トン |
| トントンに対して、 |
| 1位 愛知県 20、269トン |
| 2位 静岡県 18、699トン |
| 3位 埼玉県 14、253トン |
| 4位 広島県 12、001トン |
| ③ 届出外排出量は全国第6位 |
| 届出外排出量は全国 348、119トン |
| トントンに対して、 |
| 1位 東京都 27、466トン |
| 2位 愛知県 19、656トン |



| |
|--|
| ④ 届出事業所数は全国6位 |
| 届出事業所数は全国 40、823事業所 |
| トントンに対して、 |
| 1位 愛知県 2、564事業所 |
| 2位 北海道 2、051事業所 |
| 3位 大阪府 1、926事業所 |
| 4位 兵庫県 1、813事業所 |
| 5位 神奈川県 1、798事業所 |
| 6位 埼玉県 1、725事業所 |
| ⑤ 埼玉県届出排出量の推移 |
| 過去5年間の届出排出量は、平成13年19、438トン、平成14年18、136トン(前年1、302トン減)、平成15年16、656トン(前年1、480トン減)、平成16年14、494トン(前年2、162トン減)、平成17年14、253トン(前年241トン減) |
| ⑥ 排出量上位5物質 |
| 総排出量 29、057トンに對し |
| トルエン 13、367トン、 |
| キシレン 4、210トン、 |
| エチルベンゼン 1、326トン、 |
| ジクロロメタン(塩化メチレン) 1、061トン、 |
| パラジクロロベンゼン 907トン、 |
| その他 8、187トン |
| ⑦ 大気排出量上位5物質 |
| 総大気排出物質量 13、952トン |
| トントンに対してトルエン 9、843トン、 |
| キシレン 1、587トン、 |
| ジクロロメタン(塩化メチレン) 906トン、 |
| エチルベンゼン 550トン、 |
| トリクロロエ |



| |
|----------------|
| ⑧ 届出排出量上位5業種 |
| 届出排出量上位5業種は、 |
| 1位 出版・印刷・同関連 |
| 2位 輸送用機械器具製造業 |
| 3位 プラスチック製品製造業 |
| 4位 ゴム製品製造業 |
| 5位 化学工業 |

■ PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)
「化学物質届出移動履歴届出制度」とは、有害性のある多種多様な化物質が、どのような生産から、どれくらい環境中に放出されたか、あるいは廃棄物に含まれた事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組みです。

対象としてリストアップされた化学物質を製造したり使用したりしている事業者は、環境中に排出した量と、廃棄物や下水として事業所の外へ移動させた量とを毎年把握し、日本政府に届け出ます。また、家庭や農地、自動車などから排放される主要な対象化物質の量を把握して、2つのデータを併せて公表します。

平成20年1月23日

第2講演「身近な土壤浄化技術とその実績」

イズミ環境サービス株式会社

代表取締役 平山昭夫氏

土壤汚染対策法・土壤の改善方法、土壤調査から対策工事までの一連の流れなどを講演頂きました。

埼玉県鍛金工業組合事務所会議室において再教育研修会を開催した。当日は埼玉県環境部青空再生課有害化学物質担当主任 岡田 浩氏他1名の協力を頂き仁科副理事長出席のもと11事業所に再講演を行つて頂いた。

講師から、当鍛金組合の公害防

第3講演「環境に優しい精密洗浄剤」

アルベマール日本株式会社

アブゾール部 部長

倉林 努氏

トリクロロエチレンの代替品『ABZOLJG』の特徴と環境特性などを講演頂きました。

公害防止管理者全体の環境公害等への関心の高さと、前向きの姿勢への評価を頂きながら和気あいあいの内に講演を終了し、これで本年度の研修会は100%出席となり各事業所

公害防止管理者並びに関係各位のご協力を感謝致します。

平成20年以降は再教育研修会を開催しなくて済みます様、ご協力の程宜しくお願い致します。

公害防止管理者 再教育研修会を開催

環境保全対策委員長 石下 一明

平成19年12月7日(金)に10月11日(木)に開催された公害防止

管理者教育研修に都合で参加する事の出来なかつた事業所を対象に



全国大会 開催される

第45回

②組合功労役員表彰
生形 満男氏
吉野電化工業株式会社

③環境整備優良事業所表彰
新田興業株式会社
双葉硬質クローム工業所

栄電子工業株式会社

大会スローガン

「ものづくりはひとづくり
一環境との共生を図り次の時代につなげるひとづくりを!」

に決定

平成19年11月22日(木) 東京都港区の機械振興会館において、第45回全国大会が各都道府県鍛金工業組合関係者、所管官庁及び学術団体より多数参加を得て盛大に開催された。

今回の全国大会で賞を受賞された埼玉県の事業所は次のとおりとなつた。

①卓越した技能者表彰(全国鍛金工業組合連合会会長表彰)

有限会社 池澤鍛金工業所
高岡 彰次氏

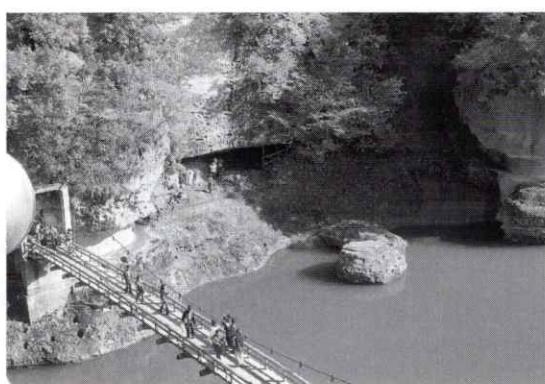


経過報告、ブロック会議経過報告の後、大会宣言のスローガンを提出・採択を行つた結果、主に今後1年間の業界運営の基本方針ともいうべき大会スローガンが『ものづくりはひとづくり』環境との共生を図り次の時代につなげるひとづくりを!』に決定した。

視察研修旅行

**■ 東新工業株式会社
(福島県いわき市)
■ 株式会社 大協製作所
(福島県西白河郡)**

れを癒した後、午後6時より10階「松の間」にて懇親会を開催、吉田 勇理事長挨拶に続き野口 武副理事の乾杯、また、明日視察予定先の株式会社大協製作所 栗原敏郎社長もおみえになり、懇親会を和やかに懇談した。



埼玉県鍍金工業組合は平成19年10月28(日)～29日(月)の二日間視察研修旅行を参加者37名にて開催した。

1日目は大宮ソニックシティ周辺に午前7時集合、大型観光バスに乗って東北道→磐越道を経て一路大内宿へ向かった。大内宿は江戸時代にタイムスリップをした様な宿場町で、囲炉裏のあるお蕎麦屋「金太郎そば」にて、昼食を頂いた後、塔のへつりを散策した。

当日は天気も良く紅葉は少々早い物の参加者の目を楽しませてくれた。その後、磐越道を戻り、いわき湯元ホテル「古滝屋」へ向かって。午後4時30分ホテルに到着、早速ひと風呂浴びて一日の旅の疲れを癒した。

とてもキレイな工場で、一同2階会議室に集まり山崎慎介社長よ

り挨拶、佐々木剛俊工場長より事業内容・品質管理など説明して頂いた。東新工業株式会社は電子部品に貴金属めつきを施し、中でも大きなリールに巻かれたプレス加工材「フープ材」に部分めつきを自動で処理できる設備を開発、この設備はとても工夫されていて、需要に応じて24時間対応できるようになっている。フープ材めつきでは最先端を行く企業で、業界でもトップシェアを占めている。

工場内を4班に別れて1時間ほど見学したが、工場内は若い社員が多く、見学する先々で大きな声で挨拶、工場設備や自動機の各工夫箇所を丁寧に説明して頂いた。品質管理は電子顕微鏡検査、自動モニターエquipment、めつき条件などのデータをパソコンで随时チェックし、不良原因などの問題にいち早く対応できるようになっている。

翌日、29日(月)午前10時にホテルを後にして、はじめに東新工業株式会社へ向かい午前9時30分に到着した。

社員教育では各従業員が考えた改善対策書や目標などを掲示板に貼り従業員が意識して責任を持つて仕事をする環境づくりになつてい



一同本日2つ目の見学先である株式会社大協製作所へ向った。途中昼食休憩をとつて、午後2時に到着した。一同2階会議室に集まり栗原敏郎社長より挨拶、続いて正野先精一工場長より会社概要、スケジュールなどを説明して頂いた。株式会社大協製作所は、防錆処理を中心として各種の表面処理が一貫でき、カチオン電着装置を導入し多品種少量生産を短納期で行

た。

平成20年1月23日

う体制を整えた常に高品質な製品づくりを心がけた会社である。また、会社理念で地元障害福祉をバクアップして、障害のある人たちへの働く機会と場所の拡大・自立を図るため、「障害福祉サービス事業ワーキングやぶき」を同製作所敷地内に設立、めつき処理前の仕分けや準備作業、製品検査、梱包などすべて手作業で行っている。工場内を4班に別れて50分ほど見学したが、工場はとても活気があり見学する先々で大きな声で挨拶、また自動車部品の焼き入れ・バリ取り作業なども工場内で行つていて、ただプレス加工された部品が自動車組立工場に出荷できるまでを一事業所内で処理できてしまう客先の需要に対応した企業でした。また、「ワーキングやぶき」を見学した際、障害をもつた方たちが一生懸命丁寧に作業している姿がとても印象深く今後の発展を応援したいと思いました。

午後4時に株式会社大協製作所を後にし、東北道に乗った後、車

内でビンゴ大会を開催、一同楽しめながら午後19時30分大宮ソニッセティに到着、今回の視察研修立ちを図るため、「障害福祉サービス事業ワーキングやぶき」を同製作所敷地内に設立、めつき処理前の仕分けや準備作業、製品検査、梱包などすべて手作業で行っている。工場内を4班に別れて50分ほど見学したが、工場はとても活気があり見学する先々で大きな声で挨拶、また自動車部品の焼き入れ・バリ取り作業なども工場内で行つていて、ただプレス加工された部品が自動車組立工場に出荷できるまでを一事業所内で処理できてしまう客先の需要に対応した企業でした。また、「ワーキングやぶき」を見学した際、障害をもつた方たちが一生懸命丁寧に作業している姿がとても印象深く今後の発展を応援したいと思いました。

ご参加いただきました皆様、又、お忙しいところ視察させて頂きました事業所の皆様、ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

現代の名工 (卓越した技能者)に 高岡彰次氏が受章



平成19年厚生労働省「現代の名工(卓越した技能者)」に有限会社池澤鍛金工業所 高岡彰次氏が選ばされました。同氏は昭和50年より32年間にわたり電気めつき技能の研鑽に勤め、現在も埼玉県鍛金工業組合所属の有限会社池澤鍛金工業所の技術部長を務めておられます。

同社において卓抜した技能を發揮されるとともに、埼玉県組合主催の技術講習会、技能検定推進など業界に大きく貢献してこれら、電気めつき技能、特に複雑形状や難素材の部品へのめつき技能並びに亜鉛めつきの3価クロム化成皮膜処理技能等に卓越し、開発した

表彰式は平成19年10月31日(水)に明治記念館新館「ふじの間」に於いてとりおこなわれました。なお、めつき業界からは株式会社ヒキフネ 石川進造氏、株式会社イースタン 石山 勉氏が受章されました。

表彰式は平成19年10月31日(水)に明治記念館新館「ふじの間」に於いてとりおこなわれました。なお、めつき業界からは株式会社ヒキフネ 石川進造氏、株式会社イースタン 石山 勉氏が受章されました。





第1支部

走る真っ赤な年上の愛人（愛車）

御紹介するのは、真っ赤なアルファロメオ・ジュリエッタ・スペイダード 1961年制（イタリア）の愛車に乗る、（株）潮工業 代表取締役 館場功治さん、満35歳です。



テージ20007」・「ムゼオ・アルファロメオ20007」自分では

イベントに連れて行くことが、最高の家族サービスだそうで、奥さんやお子さんは？そんなほのぼのとしたひと時の写真です。

夏はクーラーもなく、冬は暖房のファンがなく走つていればエンジンから温かい風が来るそうです。が愛があればなんのその！だそうです。

奥さんやお子さんは？

高速道路での100km/h走行でも何の問題もないそうですが？さすがに買い物やちょこっと乗るには心配があるそうで、イベント・オフ会を含め年に4～5回しか

乗らない、愛車は箱入り娘扱いです。

よなよな眺めて、手入れには余念がなく精一杯の愛情を注いでいるそうですが、そんな愛情たっぷりの愛車でも一度だけ、へそを曲げて「ぶん！」と止まってしまった」そうで、原因は、プラグコードの劣化で「自分がもうちょっとかまつてあげればなんのことには！」と反省しきりでした。

ご自身いわく、現代の車と違い、

コンピュータ制御ではないため機械的には故障しにくく、故障しても簡単に直す事ができ、何よりも生きているかのように、調子のいい時などは軽やかな音がして、運転していく自分と一緒になったかのように錯覚するような気がするそうです。

◆第1支部の報告
今年度役員改選において
支部長 (有)島田工業所 島田幸昌
環境保全 新田興業(株) 井上宣雄
技術 (株)潮工業 館場功治
会計 (有)高橋電鍛工場 高橋樹
2年間この体制で行つて行きます。
7月に伊香保温泉の露天風呂付き部屋で県外支部会を行い朝まで騒いでいました。

そんな餐場さん戸田で大物の亜鉛メッキを行っている、社長さんで古きよき時代の名車をこよなく愛し、家族を愛し、幸せなご家庭の持ち主である、餐場功治さんをご紹介しました。

10月は池袋のサンシャインシティ158階で御夫婦同伴の支部会を「街中であつても判んないでは淋しい」と題して行いました。
現在第1支部の会員は14社で構成しています。



写真は「ウッドディパーク・鹿沼ス

**支部
だより**
**平成19年度
第7支部**
支部長 大塚一弘

新年明けましておめでとう御座
います、本年もどうぞ宜しくお願
い申し上げます。

私も第7支部は組合会報に度
々掲載させて頂いておりますが、
今回は支部運営の基本方針と平成

19年度の活動報告をさせて頂きま
す。

①埼玉県鍍金工業組合の基本方針
に準じ、催事に積極的に参加する。
②支部活動において、地域に根ざ
した業界のPRと奉仕の精神と協
調を重んじながら、且つお互いの
親睦を深める。

③支部会費は本年度も月額5千円
とし必要に応じ臨時会費を徴収。

④年間事業予定

4月27日（金）支部会（総会準備）

青木会館 18時30分

6月1日（金）支部総会
神谷 17時30分

川口市社会福祉協議会20万円、
(株)稻垣金属工業 10万円を



来賓として、川口市長岡村幸四
郎、鳩ヶ谷市長木下達則、衆議院

議員新藤義孝、県議会議員奥ノ木
信夫、川口市議会議員豊田 満、
鳩ヶ谷市議会議員野崎一則

8月3日（金）同伴支部会
(暑氣払い)

10月1日（月）支部会
(バザーの準備)

青木会館 18時30分

11月18日（日）バザー開催

青木会館 18時30分

以上、御報告申し上げます。

平成20年1月24日

10月28～29日 本部研修旅行
(支部旅行会を兼ねる)
寄付

12月14日（金）同伴忘年会
神谷 18時30分

来賓として、川口市長岡村幸四
郎、鳩ヶ谷市長木下達則、衆議院

議員新藤義孝、県議会議員奥ノ木
信夫、川口市議会議員豊田 満、
鳩ヶ谷市議会議員野崎一則

平成20年

1月24日（木）本部賀詞交換会
サンパレス 13時30分

（支部新年会を兼ねる）

2月18日（月）支部会（総会準備）
青木会館 18時30分

その他、懇親ゴルフ会を年間6
回開催し通算166回になります此の

様な形で支部運営させて頂いており
ますが、市部員の皆様方には全
ての行事に参加して頂く事を第一
義としてご協力を願いしております。

これを期に更に努力を重ねてゆ
きたいと思います。

さいたま市中央区下落合

（株）小林鍍金工業

小林 満

高度熟練技能者の
認定を受けて



埼鍍会活動報告

◆仁科工業株式会社 視察

今回の埼鍍会10月例会は、仁科俊夫副理事長のご好意により仁科工業株式会社を特別に見学させて頂きました。

はじめに、ユニテックセンター内にて見学スケジュール、会社概要などの説明を聴いた後、久喜工場を見学させて頂きました。

久喜工場は全自动無電解ニッケル装置、通称ナビシステムと言われる小物をバスケットに入れたままめつきをする独自の装置を見学。続いてメカシス工場を見学。

メカシス工場は稼動中で無電解ニッケルめつきを処理している所を拝見、実際に品物をめつきしているところや、大きなめつき処理槽を見学させて頂きました。

質疑応答では、近く首都圏中央連絡自動車道（圏央道）が久喜工場の一部にかかるため、検査装置や実際に計測しているところを見学させて頂きました。

仁科工業さんと言えば大型の品

物へ無電解ニッケルめつきを処理できる国内でも有名な企業ですが、アルミへの無電解ニッケルや複合無電解ニッケル・クロームめつきなど多彩なめつき処理を手がけていて、また、会社全体が一丸となって確かにめつきを提供する為に努力を惜しまない強い信念を持っている企業だと感じられました。



(第3回 環境にやさしい めつき等表面処理分野)

10月に新都心ビジネス交流プラザにおいて開催されました。

各大学での研究テーマの紹介で「集積回路に用いるナノめつきプロセスと評価」や「環境にやさしいめつき浴と数値解析によるめつき膜の特性予測」などの研究テーマの説明があり、賛同するテーマに企業が援助していくもので援助方法は色々あるそうです。

当日お休みの日にも関わらず丁寧に対応して頂いた従業員の皆様と、快く工場を視察させて頂きました。仁科社長に感謝致します。

* 埼鍍会に興味があり入会されたい事業者が御座いましたら、組合事務局までご連絡下さい。

また、会の活動内容をホームページにてご観覧することが出来ます。ご興味のある方は、埼玉県鍍金工業組合ホームページ内の「埼鍍会」よりご観覧下さい。

宜しくお願ひ致します。



大学連携技術交流会 フォーラムin埼玉

鉄道博物館オーブン

事務局 武井 光枝さんが
退職されました。

平成19年10月14日JR大宮駅より
埼玉新都交通ニューシャトル大成駅
前に(鉄道博物館駅)がオープンし
ました。

鉄道博物館開館にあたって大成駅
は、「鉄道博物館駅」に駅名を変更
しました。JR東日本創立20周年記念
事業の目玉として建設された。

実物展示車両36両、鉄道のしくみ
を体感できるゾーンなどがある。
埼玉県さいたま市大成町3丁目47番
電話 048(651)0088(代)
ホームページ
<http://www.railway-museum.jp/>

開館 10時~18時
休館日 毎週火曜日、年末年始
料金 一般千円
小中学生500円 幼児200円
団体は別料金



事務局に新しい職員 が入りました

19年10月1日より武井さんの後
任で大泉りささんが入りました。

又、分析施設の強化改善のため
篠永智恵子さんが入りました。

大泉さんの挨拶

「10月1日より組合でお世話に
なっております。大泉りさと申し

ます。

仕事は初めてなので右も左も分

からず皆様にご迷惑をおかけして

しまうと思いますが、一生懸命頑
張りますので、ご指導宜しくお願
い致します。」

篠永さんの挨拶
「分析担当は私一人ということ
で、皆様のお力添えが頼りです。
どうぞ宜しくお願い致します。」

今後とも組合事務所をよろしく
お願い致します。

謹んでご冥福をお祈りします。

伊藤 文男さん
三洋電化工業株式会社
代表取締役社長
平成19年12月26日 逝去
享年49歳

野口 キミさん
野口工業株式会社
代表取締役 野口 武氏 ご母堂
平成19年10月30日 逝去
享年83歳



編集後記

表紙の写真は「塔のへつり」です。

大川(阿賀川)が百万年の歳月を
かけて、浸食と風化を繰り返した
結果出来上がった見事な景観です。
「へつり」とは、川岸が切り立つ
た崖となっている所の事を言います。
また、釣り人などがこのようない
場所の少ない足場を頼りに川沿い
と呼ぶそうです。